

研修報告



医療・介護等の専門職を対象とした在宅医療・介護に関する研修会を開催しています。

第28回 多職種事例検討会

テーマ:「特別養護老人ホームにおける医療介護連携について」



平成31年2月14日(水)19時～
きむらクリニック 木村将秀先生を
講師としてお迎えし、多職種事例検
討会を開催しました。
「特別養護老人ホームについて」の
ミニ講義をいただいた後、特養にお
ける医療介護連携の事例紹介、各
職種の役割や支援についてグルー
プで検討しました。施設における医
療介護の実際を知ることができ、住
まいや生活の場が変わる時でも多
職種による支援が続いていくこと、
その連携の大切さを学びました。

2019年
4月1日第5号

【発行】
中央区医療介護
サポートセンター

【住所】
神戸市中央区橋通
4-2-1 芳川ビル3F
中央区医師会内

TEL:078-351-2270
FAX:078-351-2271
担当 辻村



中央区医療介護 サポートセンター 便り

中央区医療介護サポートセンター便りは
年4回(4月7月10月1月)の発行です。

中央区医療機関病棟・地域連携部門担当者と訪問看護師、施設看護師の交流会

テーマ:
「切れ目なくつないでいくために～その人らしい生活を地域で支えていくために医療者にもとめられること～」



平成31年2月21日(木)交流会を開催いた
しました。平成27年度にスタートし今年で5回目を
数えました。

交流会は、小田 美紀子氏(コウダイケアサー
ビス)より『これから求められる多職種連携』に
ついてご講義をいただいた後、ワールドカフェ方
式のグループワークで『働く場・求められる役割
の異なる医療職同士の情報共有について』
自由に意見交換や情報交換を行いました。

今年度も、病院⇄在宅⇄施設と同職種間の
切れ目ない連携体制作りを進めてまいります。

第2回中央区医師会・神戸市ケアマネジャー連絡会中央区合同勉強会

テーマ:「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)について～人生会議について学びませんか～」

平成31年3月14日(水)14時～合同勉強会を開催しました。
『ACP(アドバンス・ケア・プランニング)』について、中央区医
師会副会長小川達司先生よりご講義いただきました。ケア
マネジャーだけではなく、多くの医療・介護関係者の参加があり、
ACPの関心の高さが見えました。講義では、ACPが進めら
れるようになった背景、ACPの考え方、国のガイドライン、他
都市の取組み等について、とてもわかりやすく教えていただく
ことができました。サポートセンターでは、今後もACPIに関す
る研修会や取り組みをすすめてまいります。



ACPの問題点

ACPの利点

現在のACPの状況

本日の内容

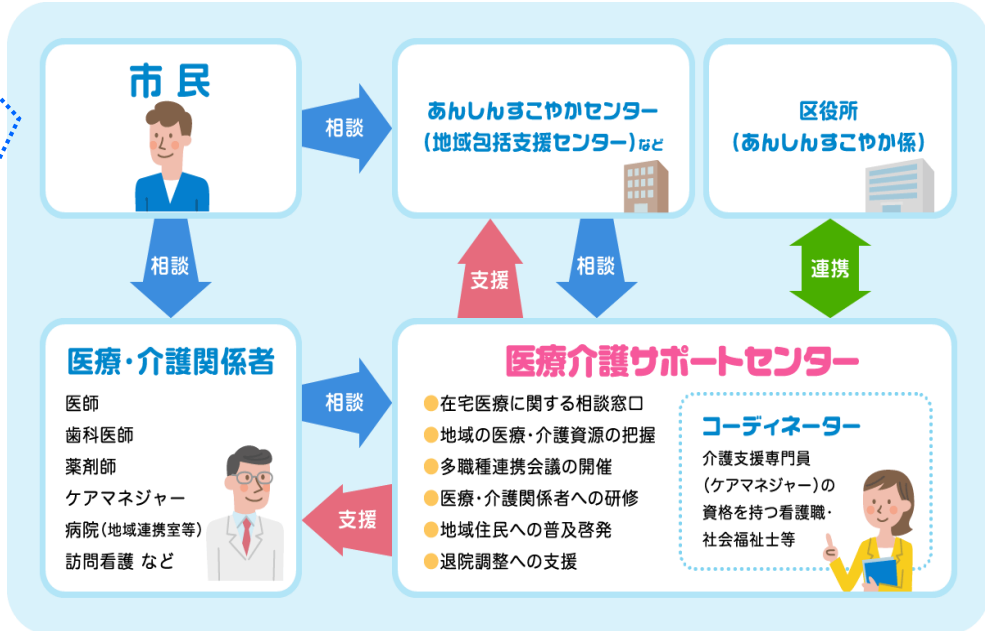
導入

現在の状況
何故、ACPなのか
ACPとは
ACPの今後

「医療介護サポートセンター」は、神戸市には北区に2か所、他の8区にそれぞれ1か所の合計10か所のサポートセンターが設置されています。医療、介護、福祉の関係者からの在宅医療に関する相談への対応や、各種の研修、市民の方への在宅医療・介護に関する普及啓発などの業務を行っています。
地域の医療・介護関係者の連携をサポートすることで安心してらせる地域づくりを目指しています。
ぜひ、日々の支援の中で、医療介護サポートセンターをご活用ください。

【相談について】

在宅医療と介護の連携推進を目的としていることから、医療・介護関係者からの在宅医療に関する相談に対応しています。相談は無料です。（原則、市民から直接相談をお受けすることはできません。市民の相談窓口としては、引き続き、あんしんすこやかセンターが対応します。）



《医療・介護サポートセンターのホームページのご案内》
各区サポートセンターの紹介やお知らせ、研修案内、活動報告等をご覧いただけます。是非、ご活用ください。

【アドレス】 <https://kobe-iks.net/>



中央区医療介護サポートセンターではこのような相談を受けています。

「医療介護サポートセンター」は、『在宅医療に関する相談窓口』という機能を担っています。医療、介護関係者からの在宅医療に関する相談に対して、コーディネーターが必要な情報提供や支援・調整を行います。
平成30年度は、220件のご相談があり、一緒に対応してきました。

【栄養指導について】

栄養指導を検討している。訪問栄養指導について、利用までの手続き等の情報を教えてほしい。

クリニックの医師からの相談

☞ 対応結果

訪問栄養食事指導について情報提供。
栄養士会と医療機関をコーディネートさせていただきました。

【患者様について】

1人暮らしで認知症があり、今後の生活が心配な方がおられる。支援が必要だと思うが、どうすれば・・・？

クリニックの医師からの相談

☞ 対応結果

情報収集と相談内容の整理を行い、患者様の圏域のあんしんすこやかセンターへ連絡。
先生とセンターをつなげることができました。